



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan



Food and Agriculture Organization
of the United Nations

グスタフソン国連食糧農業機関 (FAO) 事務局次長を迎えて

「食品ロスを考える国際セミナー - さあ、今日から実践! -」の開催

日時: 2018年2月2日(金) 15:30~17:30

会場: 日本プレスセンタービル (東京都千代田区内幸町2-2-1) 9階会見場

主催: 外務省

協力: FAO, 料理ボランティアの会

基調講演: ダニエル・グスタフソンFAO事務局次長(プログラム担当)

パネリスト: 中村勝宏 日本担当FAO親善大使

チャールズ・ポリコ FAO駐日連絡事務所長

小林富雄 愛知工業大学経営学部教授

河合亮子 農林水産省食品産業環境対策室長

参加者: 政府関係者, 国際機関関係者, 自治体関係者, プレス関係者 ほか



グスタフソンFAO事務局次長

背景・目的:

FAOの最新の報告によると、世界では8億を超える人々が飢餓に苦しんでいます。その一方で食品廃棄の多さが世界的に課題となっており、日本においても、年間の食品ロスは600万トンを超えています。これは、日本人1人当たり換算すると、“お茶碗約1杯分の食べ物”が毎日捨てられている計算となります。

こうした状況を踏まえ、食品ロスについて国際的な観点から理解を深めるためのセミナーを開催します。本セミナーでは、FAOローマ本部から訪日予定のグスタフソンFAO事務局次長から基調講演として、世界の食品ロスの現状を説明いただきます。続くパネルディスカッションでは、日本ホテル株式会社で統括名誉総料理長を務める中村勝宏日本担当FAO親善大使をはじめ、食品ロスに造詣の深いパネリストを招き、飲食の現場で発生する食品ロスについて考えます。またティーブレイクでは、料理を通じて被災地支援を行う有志団体「料理ボランティアの会」の協力で開発された、福島産フルーツを使ったフルーツケーキを紹介し、昨年5月のグラツィアーノFAO事務局長の訪日時に続き、被災地復興を食を通じて後押ししつつ、身近な食品ロスを考える機会を設けます。

幅広いプレスの皆様のご参加をお待ちしております!

プログラム概要: 2月2日(金)

15:00 受付開始 (9階会見場)

15:30 開会挨拶 - 外務省

15:35 活動報告 - 中村勝宏日本担当FAO親善大使

15:45 基調講演 - グスタフソンFAO事務局次長

16:10 ティーブレイク(福島産フルーツを使ったフルーツケーキ紹介)

16:30 パネルディスカッション

モデレーター: 高橋美佐子 外務省経済安全保障課長

17:30 閉会

参加費: 無料

参加登録

Eメール mofa-fao-events@mofa.go.jp または FAX(03-5501-8337)

宛に 2月1日(木)18:00までに登録をお願いします。

(登録内容: 氏名・所属・Eメールアドレス・電話番号)

お問合せ先

外務省経済局経済安全保障課 TEL: 03-5501-8339(担当 川井田)

ダニエル・グスタフソン FAO事務局次長の略歴

1994年からFAOに勤務。モザンビーク農業省での事業に従事した後、FAOケニア、ソマリア、インド及びブータンの国事務所代表を務める。2007年、ワシントンD.C.にあるFAOの米国・カナダリエゾンオフィスの代表、2012年にはFAO本部で分権化支援部(OSD)部長に就任し、FAOの国・地域事務所の強化とFAOの変革プロセスにおける分権化に関連した側面を支援。現職の前は、事務局次長(オペレーション)として、世界各国のFAO事務所やオペレーション関連部署を統括。アメリカ国籍。メリーランド大学にて博士号を取得。2015年には、インドのアチャルヤンGランガ農業大学から名誉博士号を授与された。

「料理ボランティアの会」

ジャンルを超えて料理業界に従事する有志たちが共同で行う応援の会。各地の被災地で料理を通じた復興支援を積極的に行っている。(ウェブサイト: <http://ryori-vol.typepad.com/>)